

河川レンジャー活動を下記の通り実施しました。その中で参加者対象のアンケート等を含む意見を報告させていただきます。

～記～

期日：2007年10月5日（金）13:30～16:00

場所：松尾大社「蓬莱の間」

講師：宮本博司（元河川管理者）

大西賢一（梅津自治連合会長）

磯部和雄（保津川漁協専務理事）

林 信孝（日本野鳥の会京都支部）

一般参加：約40名

支援：国土交通省

#### 【意見】

①私たち地域在住のものにとって、昔の桂川はもっともっと身近な存在だった。昔のような桂川との関わりを取り戻したい。

②保津峡開削の声を聞くが、亀岡の住民にとってには良策なのかも知れないが、嵐山から下流住民にとっては永い歴史を無視したとんでもない行為と思われる。自然を甘く見ないでほしい。川は、上流から下流に向かってただ水がスムーズに流れればよいというものではない筈。

③治水に余程の影響が無い限り、中洲や寄州の伐木は避けるべきと思う。国民が地球温暖化問題に怯えて暮らしている今、1本の樹木と一酸化炭素との関係をもっと重視すべきではないか。

以上